

***** The Future We Want

Name : 石川 裕大 Age : 11 Date : 5/5

ぼくは日本の小学6年生です。衣食住に不自由することもなく、楽しく遊び、楽しく学び、幸せに生活しています。でも、これができない子供もたくさんいるのです。

安全な食料どころか安全な水すら手に入らない。手に入れたとしても、それ自体が重労働だし、この状況ではどうして学校には通えない。ぼくと同じ子供なのにこんな状態で良いはずありません。

この問題と環境問題は密接に関わっています。どうか、貧しい子供達のためにも、今回の会議で解決の糸口を探し、それに挑んで下さい。

ところで、ぼくは豊かな生活の中にも不満があります。それはぼくら子供の未来が危ないのに、また子供だから自分一人では行動を起こせないことです。

でももし、行動を起こせたらぼくは声を大にしてこう言いたい。

「環境の問題の責任を特定の国だけに追及

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ The Future We Want

するのはやめて下さいと。

確かに環境が壊れたり、資源が無くなってきたりしているのは大半が先進国の責任です。発展途上国が発展したいのもわかります。しかし、そこでもめていて何の意味があるんですか？その間も環境は壊れつづけているんです。

あなた方大人は責任の問題に目がくらみ、ぼくら子供の未来を二の次にしてしまっているのです。その未来こそがぼくらにとっての“The Future we want”であるのに。

地球が一つの生命体だと考えてみましょう。人間もその一部とします。地球のどこかで少しでも問題が起きれば人間にも不具合がでます。それならば人間全員が地球市民として一丸となって全力で環境問題に取り組むはずですよね？そう環境問題の責任は地球市民全員が果たすべきなのです。

ぼくらにとっての“The Future we want”とは「だれもが幸せな未来」です。でも、環境や資源に問題があればそれは実現しません。そうぼくらの望

***** The Future We Want

未来に環境問題の解決は不可欠なので、でもそれは、ぼくらが大人になってからでは手おくれなんですよ。だれかの過ちを、別のだれかが正す。同じ地球市民だ、という認識があれば、そのことも当たり前になるのではないのでしょうか。おねがいです。ぼくらの幸せな未来の土台を創って下さい。